

さいと学評価規準例<第1学年>

題材	時間	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
オリエンテーション	1	西都市の歴史や文化財に興味・関心をもち、意欲的に学習しようとする。			西都の歴史や文化財についての理解を深めるとともに、さいと学の全体像について捉えることができる。
西都の歴史・風土について調べよう	2~4	自分の調べた内容を、相手に伝えるように意欲的に発表しようとする。 他の生徒の発表に興味・関心を持ち、メモを取りながら真剣に聞こうとする。	「伊東マンショ」について調べていく中で、マンショの功績の素晴らしさに気づく。また、自分と他の生徒の意見を比較しながら聞くことができる。	「伊東マンショ」について、資料やインターネット等を利用して調べることができる。また、大事なところを整理してレポートとして表現することができる。	「伊東マンショ」についての歴史・功績などについて理解することができる。
	5~9	自分で決めたテーマについて、意欲的に調べようとする。	自分で決めたテーマを調べていく中で、地域の良さ、人々の思いに気づくことができる。	自分で決めたテーマについて、郷土史等の資料やインターネットを活用して調べることができる。	地域の歴史・伝統の特徴がわかる。
	10~15	自分で調べたテーマについて分かりやすくまとめ、意欲的に相手に伝えようとする。	調べたことを発表することで、地域の良さを再確認することができる。	自分でまとめた歴史・伝統・自然・環境について、情報機器等を活用しながら相手に伝えることができる。	歴史・伝統・自然・環境について理解し、地域の人々の思いや願いが理解できる。
福祉について考えよう	16~18	自分の感じたことを、相手に伝えるように意欲的に発表しようとする。 他の生徒の発表に興味・関心を持ち、メモを取りながら真剣に聞こうとする。	「石井十次」についてのビデオを通して、十次の功績の素晴らしさに気づく。 自分の感想と他者の感想を比較しながら聞くことができる。	「石井十次」についてのビデオを見て、感じたことを文章で表現することができる。	「石井十次」の功績を通して、福祉の意義について理解することができる。
	19~21	西都の福祉・ボランティアの現状・高齢者の福祉について自分たちにできることを考えようとする。	学習を通して、自分のこれまでの福祉に対するイメージや考えと比較することができる。	適切な言葉遣いやマナーについて、場に応じて実践することができる。	西都の福祉・ボランティア・高齢者の福祉についての現状を知り、これからの自分たちの役割について理解する。
	22~23	福祉について興味・関心をもち、準備や清掃活動に意欲的に取り組もうとする。	交流会や体験活動を行うために、必要なものや事前に準備すべきことについて考えることができる。		福祉施設での生活や施設の現状について理解することができる。
	24~29	これまでに学習したことを生かしながら、福祉体験学習に取り組もうとする。	体験を通して学んだことを、これまでの自分の在り方と照らし合わせ、これからの西都の福祉について考えることができる。	これまでに学習した内容を、実際の体験の場面で活用することができる。	福祉の仕事内容や職業の意義について、実際の体験を通して理解することができる。
福祉について考えよう(発表)	30~33	体験先の職場へ感謝の気持ちをこめて、意欲的にお礼状や報告書を書こうとする。	福祉体験学習で学んだことをわかりやすく伝えるために、報告する内容を精選し、説明の順序を組み立てることができる。	お礼状や報告書を、実際に体験した内容を交えながら、分かりやすく書くことができる。	お礼状や報告書の書き方について理解することができる。
	34~35	自分の体験した内容を、相手に伝えるように意欲的に発表しようとする。 他の生徒の発表に興味・関心を持ち、メモをとりながら真剣に聞こうとする。	他の生徒の発表を聞き、自分の意見や考えと比較しながら、良い点や参考にしたい点を見出すことができる。	自分の発表内容を、他の生徒に分かりやすく発表し、質疑に応答することができる。	他の生徒の発表を聞き、福祉についての知識を深めることができる。

さいと学評価規準例<第2学年>

題材	時間	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
オリエンテーション	1	西都市の歴史や文化財に興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとする。			西都の歴史や文化財についての理解を深めるとともに、さいと学の全体像について捉えることができる。
他の地域と西都を比較しよう	2~7	西都市と修学旅行先の自然・産業・文化について興味・関心を持ち、意欲的に調べようとする。	西都市と修学旅行先の自然・産業・文化の違いが何に起因するのか、調査学習で得た知識をもとに考えることができる。	調査の視点に沿って、書物や資料、インターネットなどを活用して情報を探することができる。 調査結果について、分かりやすくまとめることができる。	西都市と修学旅行先の自然・産業・文化の違いを理解することができる。
	8~9	自分の調べた内容を、相手に伝えるように意欲的に発表しようとする。 他の生徒の発表に興味・関心を持ち、メモをとりながら真剣に聞こうとする。	他の生徒の発表を聞き、自分の意見や考えと比較しながら、よい点や参考にしたい点を見出すことができる。	自分の発表内容を、他の生徒に分かりやすく発表し、質疑に適切に回答することができる。	西都市と修学旅行先の自然・産業・文化の違いについて説明することができる。
望ましい職業観、勤労観を身に付けよう	10~12	職業について興味・関心を持ち、働く人の思いを意欲的に聞こうとする。	働く人の話を聞き、自分のこれまでの職業に対するイメージや考えと比較することができる。		社会には様々な職業があり、それぞれにやり甲斐や必要な技能・資格があることを理解することができる。
	13~20	職場体験学習へ興味・関心を持ち、準備や事前訪問などに意欲的に取り組もうとする。	職場体験学習を行うために必要なことや事前に準備すべきことについて考えることができる。	職場での適切な言葉遣いやマナーについて、場に応じて実践することができる。	職業の分類や最近の職業をめぐる問題について理解することができる。
	21~32	これまでに学習したことを生かしながら、真剣に職場体験学習に取り組もうとする。	体験を通して学んだことを、これまでの自分の在り方と照らし合わせ、将来の職業選択に向けて望ましい職業観や勤労観を育むことができる。	これまでに学習した内容を、実際の体験の場面で活用することができる。	体験先の仕事内容や職業の意義について、実際の体験を通して理解することができる。
望ましい職業観、勤労観を身に付けよう(発表)	33~34	体験先の職場へ感謝の気持ちを込めて、意欲的にお礼状や報告書を書こうとする。	職場体験学習で学んだことを分かりやすく伝えるために、報告する内容を精選し、説明の順序を組み立てることができる。	お礼状や報告書を、実際に体験した内容を交えながら、分かりやすく書くことができる。	お礼状や報告書の書き方について理解することができる。
	35	自分の体験した内容を、相手に伝えるように意欲的に発表しようとする。 他の生徒の発表に興味・関心を持ち、メモをとりながら真剣に聞こうとする。	他の生徒の発表を聞き、自分の意見や考えと比較しながら、よい点や参考にしたい点を見出すことができる。	自分の発表内容を、他の生徒に分かりやすく発表し、質疑に適切に回答することができる。	他の生徒の発表を聞き、職業についての知識を深めることができる。

さいと学評価規準例<第3学年>

題材	時間	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
オリエンテーション	1	西都市の歴史や文化財に興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとする。			西都の歴史や文化財についての理解を深めるとともに、さいと学の全体像について捉えることができる。
自己進路計画の作成	2~3	自分の進路目標について真剣に考え、より良い生き方を目指して意欲的に取り組むことができる。	自分の将来の生き方や進路に関する情報を元に具体的な将来の設計図を描くことができる。	自分の生き方や進路に関する様々な情報を取捨選択して、整理して表現することができる。	
礼法指導	4~5	礼法について、関心をもって講話を聴いたり、実践に参加することができる。	日常生活の場面で、TPOに応じた礼儀作法を使い分けることができる。	個別指導の際に、所作の留意点に注意しながら、実践することができる。	講話を聴いたり、実践をすることによって日本人として正しい礼儀作法についての留意点を理解することができる。
作文・小論文制作1	6~7	高校入試に向けて、文章を書くということに関心を持ち、意欲的に活動に取り組むことができる。	作文と小論文の例を見て、文章構成や表現の工夫の仕方などについて考えることができる。	作文を書く手順、作文のテーマに沿って、自分の考えを文章で表現することができる。	小論文と作文の違いや、文章を書く手順、文章構成の仕方について理解することができる。
高校説明会の実施	8~9 17~18	様々な高等学校の特色などについて関心を持ち、意欲的に参加することができる。	説明された各高等学校の特色を自分の進路先と照らし合わせ、活用することができる。	説明された各高等学校の特色をワークシートに整理し、表現することができる。	それぞれの高等学校の校風、学科、部活動、行事、進路先などについて理解することができる。
作文・小論文制作2	10~12 19~21	高校入試に向けて、文章を書くということに関心を持ち、意欲的に制作活動に取り組むことができる。 他の生徒の発表を聞き、良いところを積極的に見つけようとする。	作文(小論文)の制作において、設定された時間配分や文字数を意識しながら、文章を構成することができる。 他の生徒の発表を聞き、自分の作文(小論文)と比べて良い点を見つげることができる。	作文(小論文)を書く手順、テーマに沿って、自分の考えを文章で表現することができる。 自分の書いた作文(小論文)を、発表のしかたに留意しながら発表することができる。	文章を書く手順や文章構成の仕方、制作時の時間配分について理解することができる。
卒業生・社会人と語る会の実施	13~16	社会に出て働くということについて考え、将来の自分をイメージしながら、意欲的に会に参加することができる。	講話を聴き、自分の将来の生き方や進路選択、中学校生活の中でやっておくべきことを思い描くことができる。	講話を聴き、将来に向けて自分のすべきことは何かを整理し、表現することができる。	社会に出てから必要となる能力や考え方、働く上で生じる責任などについて理解することができる。
個人面接及び礼法指導	22~27	高校入試に備え、関心をもって面接の練習に臨み、試験当日と同じような緊張感を持ち、意欲的に取り組むことができる。	質問への答え方や、面接時の立ち振る舞いについて、日常生活と使い分けることができる。	面接を受ける際の正しいマナーや、質問への的確な受け答えについて、模擬面接で実践することができる。	面接を受ける際の基本的なマナーや、受け答えの仕方について理解することができる。
集団討議及び礼法指導	28~33	高校入試に備え、関心をもって集団討議の練習に望み、試験当日と同じような緊張感を持ち、意欲的に取り組むことができる。	意見発表の場において、定められた時間を意識しながら文章を構成、発表することができる。	集団討議や意見発表の方法を習得し、模擬練習において実践することができる。	発表する意見を組み立てるときの文章構成法や、集団討議の方法について理解することができる。
在校生への進路アドバイス	34~35	充実した学校生活を送ってもらうために、自分の3年間の経験を在校生に伝えようと、意欲的に活動に取り組むことができる。	3年間の学校生活を振り返り、在校生に伝えるべき経験や思いについて考えることができる。	自分の学校生活の経験から在校生に感じてほしいこと、学んでほしいことを、分かりやすくレポートにまとめることができる。	